

オオト サワダイ サボウ エンテイ コウジ アンゼン タイサク
 H23 大事沢第5砂防堰堤工事における安全対策について

カブシキ カイシャ オオモト グミ ゲンバ ダイリニン 伊ヨシ ススム
 株式会社 大本組 現場代理人 稲吉 進

○工事概要

工 事 名 : H23 大事沢第5砂防堰堤工事

工 期 : 平成24年 1月 31日 ~ 至 平成27年 12月 10日

工事場所 : 栃木県日光市野門地先

請 負 者 : 株式会社 大本組 東京支店

工事内容 : 砂防堰堤 □砂防土工 1式

□堰堤工 1式

堰堤本体工岩着コンクリート 約340m³

砂防ソイルメント 約11,460m³

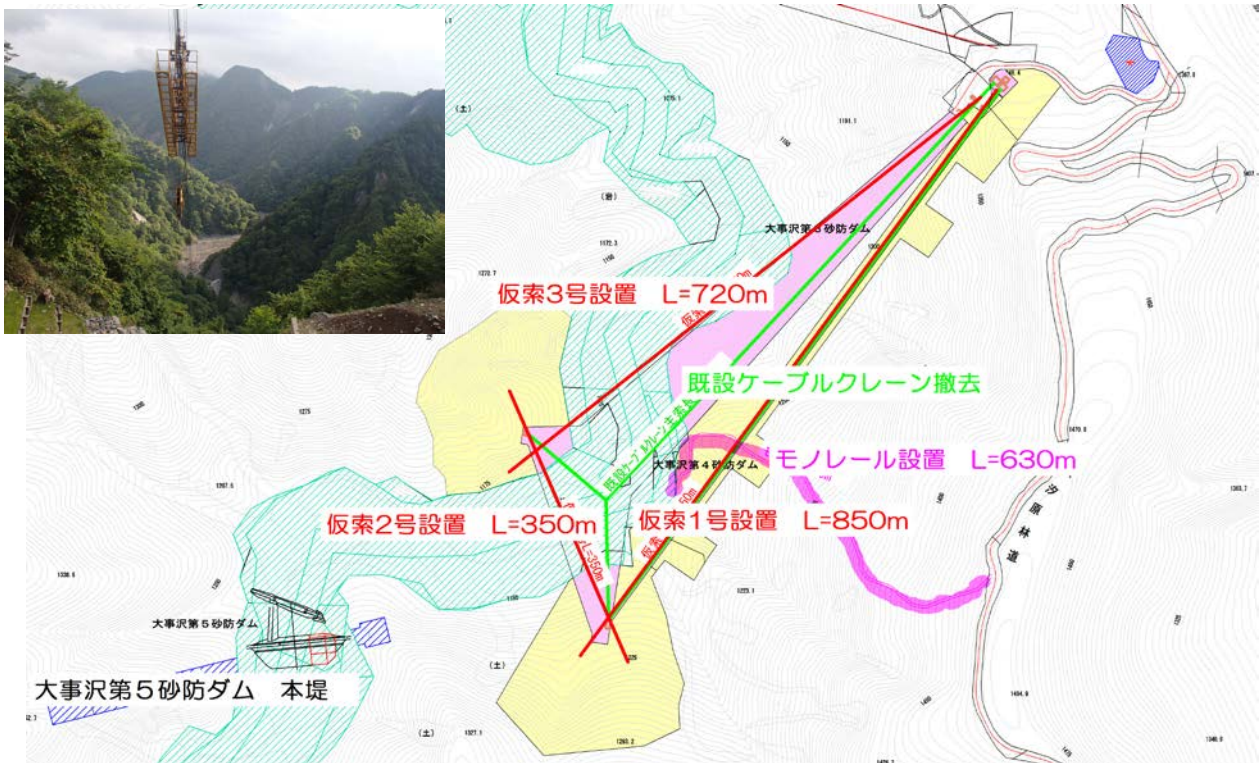
ケーブルクレーン設備修繕工 1式

□仮設工 1式

平成25年工事内容 : 堰堤工 ケーブルクレーン設備修繕工に伴うケーブルクレーン撤去工 1式

仮設工 モノレール設置工 L=630m

仮設工 仮索設置工 N=3基



○安全に対する取組み

【作業環境情報の伝達の効率化】

- ・当施工現場においては急峻な山間地であり、携帯電話の電波が届かないところでの作業であり、大雨・地震・雷等の気象情報をいち早く現場事務所にてインターネット等で入手し、作業員に直ちに伝達できるよう作業中は常に相互連絡が可能になるよう各グループに一台ずつ衛星電話を携帯し緊急連絡可能にしました。



衛星電話使用講習

- ・現場に設置した雨量計において雨量表示をデジタル表示を行うことにより、常に作業中止基準となる雨量の把握を確実に行うことが可能としました。
また中止基準を超えた場合には回転灯が点滅することにより警告を確実に認知可能としました。



雨量警報装置

- ・風速計を施工ヤードに設置を行い、また作業中止基準以上に風が発生した場合には回転灯が点滅することにより、作業員の誰でも現在の風速を認識できるようにし、作業進行の判断基準になるようにし、安全意識の向上になるよう周知しました。



風速計・警報回転灯

【工事用道路における車両事故防止】

- ケーブルクレーン資材搬出・搬入に伴い、運搬車両への積載確認のため、積込高さセンサーを設置することにより、万一積込高さオーバーの場合にはセンサーが反応し、連動して回転灯が点滅することにより、運転手に注意を促すと共に事故防止に対する意識の向上に努めました。



センサー類・警報回転灯



高さ警報センサー設置状況



注意看板設置状況

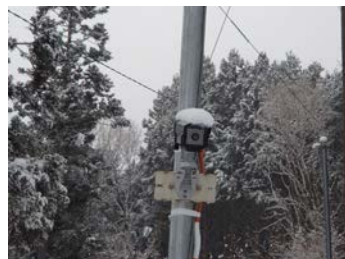


警報回転灯設置状況

- 工事用道路は一般登山客との共用道路であるが、一般車両の進入は禁止であり誤進入により工事用車両との接触事故防止のためまた工事資機材盗難防止の為の対策として監視カメラの設置を行いました。



監視カメラ設置状況



監視カメラ



監視装置・モニター

【ケーブルクレーン解体作業時における立入禁止箇所周知】

- ・ケーブルクレーン解体時、山間の広い施工範囲の中で、ケーブルワイヤーの入替・撤去等、非常に危険が伴う作業であり、関係作業員及び他の工事関係者に対して作業の周知徹底を図ることが必要になりました。

作業開始前のKY活動時、当日の作業位置・内容を明記した図面を作業ヤードの

入口（モノレール乗場）に設置し関係作業員に対する意識の確認と他の作業員への周知しました。



モノレール乗場



モノレール降場

- ・河川内上空ワイヤー箇所明示の為、注意看板を設置することにより、注意喚起を行いました。



上空ワイヤー明示

- ・ケーブルワイヤー作業時、緊急時通行できるよう、ワイヤー等の落下があってもいいような仮設安全通路の設置を行いました。



ビティ足場による緊急通路設置